

## 遺伝子定量のイノベーション

# ドロップレットデジタルPCR(ddPCR) オンラインセミナー 『最新研究におけるdigital PCRの有用性』

実施日: 2022年 11月 25日(金曜日)

時間: 16:00~17:00

セミナー形式: WEBセミナー

セミナー参加リンク: お問い合わせください

演者: Bio-Rad アプリケーションスペシャリスト  
寺田智子氏



様々な研究分野において、遺伝子定量は欠かせない技術です。従来はその代表であるリアルタイムPCRが広く用いられてきましたが、近年、これを大幅に超える**高精度・高感度のデータ**を得ることのできる「デジタルPCR」技術が開発されました。

デジタルPCRは、遺伝子発現量の差を高精度に見分け、さらに微量遺伝子の発現量を高感度に定量することが可能です。Bio-Rad Droplet Digital PCR (ddPCR) システムは、販売開始後10年が経過し、幅広い研究分野の数多くの利用により発現解析のみならず様々なアプリケーション実績が急速に蓄積されております。

そこで当セミナーでは、QX100 ddPCRに関しまして、

(1) ddPCRの基礎知識

(2) リアルタイムPCRとの違い

(3) アプリケーション紹介

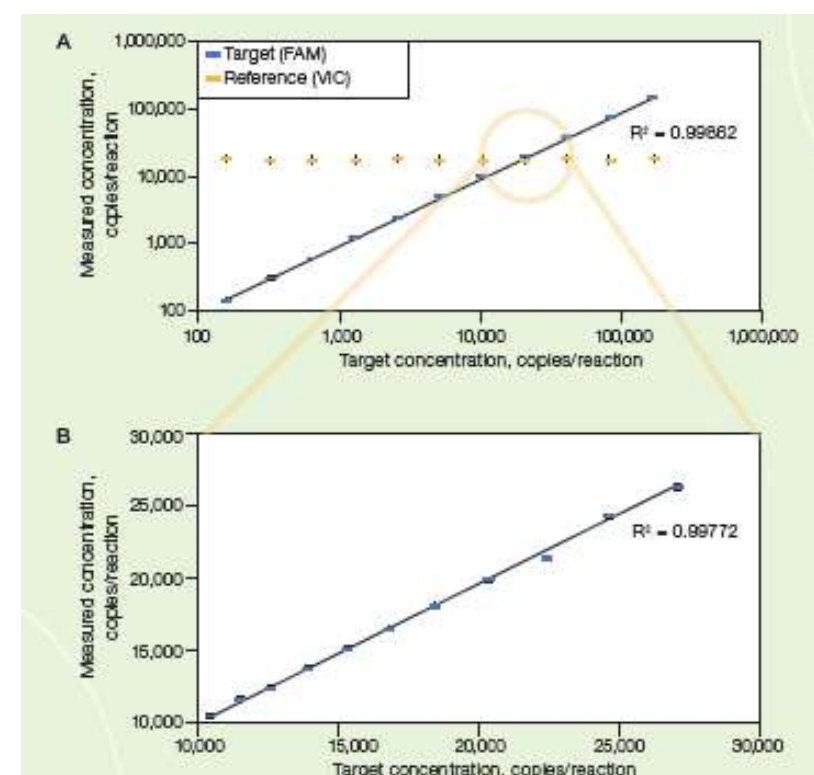
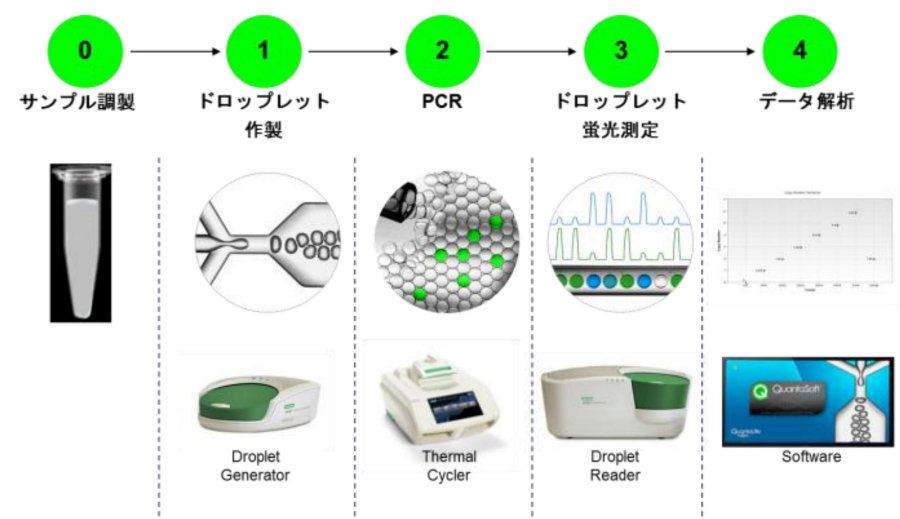
- ・ シングルセル解析 (ドロップレットを細胞封入容器として活用、母親静脈血から胎児の性別判定)
- ・ ゲノム編集(デジタルPCRを用いたスクリーニングについて)
- ・ 発現解析におけるddPCRの有用性
- ・ 環境中のウイルス定量(下水、海水など)

デジタルPCRについてご存じない方から、ご自身の最新研究への応用をご検討の方まで、幅広く手短にご紹介していただく予定です。是非お気軽にご参加下さい。

お問い合わせ:

主催: 総合研究センター 実験実習機器施設

kiki-ri@kochi-u.ac.jp



A. 150~150,000コピー(5オーダー)の濃度を測定  
B. 1.1倍希釈系列で±10%の誤差で測定